

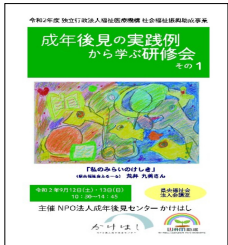
R ◆ Flag プロジェクト通信



NPO法人成年後見センターかけはし 神奈川県大和市柳橋2-1-26ウイングシバタ102
HP : <http://www.kakehashi-tomoni.org/> E-mail: info-kakehashi@galaxy.ocn.ne.jp
TEL : 046-244-5551 FAX : 046-244-5534



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業



県央福祉会利用者さんの
素敵な絵を表紙にし
た冊子体のテキスト

本会は、NPO法人成年後見センターかけはしの「令和2年度WAM助成講演会・研修会事業」の第二弾となる二日間型の研修会となります。
当日は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、会場の消毒、参加者の検温、常時換気、最大参加人数の制限を行い、3密を避けた状態で実施しました。
生活支援事業所、グループホームなどの福祉施設職員、障がいのある子の親など延べ35名が参加しました。

9月12日(土)・13日(日)の2日間にわたり、県央福祉会法人会議室を会場に「成年後見の実践例から学ぶ研修会その1」を開催しました。

第4回 かけはしWAM助成事業

専門職のお話・充実の2日間

研修会1日目

12日午前の部は、昨年もお呼びした菊地哲也氏（法律事務所インテグリティイ弁護士 写真④⑤）。

これまでの後見活動の中で気付いたことや問題点を、丁寧にお話ししてくださいました。
「地域力」のお話では、社会の障壁を無くしていくことが、障がいをもつ方の適切な選択肢を増やすことに繋がる、そしてそれには地域自体に力が要る、ということ。そこに暮らす被後見人さんと共に、菊地氏がこの問題についても向き合っていたことがわかりました。



菊地 哲也 氏

菊地氏の魅力は、真摯に、謙虚に、温かく人と向き合うところだと感じます。「私は管理的になっていないか?」「うざい人になっていないか?」「いつも自分に問いかけ、被後見人さんと常に対等なパートナーでありたい」という菊地氏。今後の活動のお話もまたお聞きしたいです。

午後の部は、かけはし研修会といえばこの方! 小林真理子氏(山梨英和大学大学院教授写真⑥⑦)。

今回のテーマは「ひきこもり」。本人へのアプローチを、多彩なパワーポイントで細かく明瞭に示してくださいました。
小林氏のお話はいつもの何かワクワクするような瞬間が訪れます。質疑応答を含めた総論で、「今、コロナ禍でゼミが全てリモートですが、い



小林 真理子 氏



濱野 真一 氏

わゆる「ひきこもり」の学生達が実に生き生きと参加してくるんです。ああ、この子こんな事考えてたんだ!と驚かされる。今日の講義はいわゆる「10年前のひきこもり論」つまりその当時の社会概念「こもり論」が出てくるのでは? コロナ禍で急変化している社会の中で、そもそもひきこもりって問題なの?と言われる時代になってくるのでは?」と、キラキラ輝く笑顔でお話してくださいました。

研修会2日目

13日午前の部は、こちら3年連続でお招きしている人気講師濱野真一氏(濱野真一税理士事務所 写真⑧⑨)。

「はた目には分からないけれど、人は皆、悩みを抱えて生きています」と冒頭で述べた濱野氏。その悩みの一つは「お金」という人も多いでしょう。そんなお金のお話を、実にわかりやすくテキパ

キと講義してください、聞いていこうに我が家の家計を見直したくなってきました。しかし、お金があれば安心という訳ではなく、残す仕組み、管理する仕組み、確実にその行き場を与える遺言書のお話は、とても興味深いものでした。

午後の部の講師は、大場正昭氏(当法人副代表理事 写真⑩⑪)。次男の親族後見人になって5年半となる大場氏の、これまでの実践のお話でした。しかし、「実践のお話」と一言では表せないほどの、実に充実した資料と、その講演内容の濃さに驚きました。

親であると同時に、裁判所から個の生活と財産を守る為に任命された後見人でもある大場氏の、深い愛情とプロ意識に参加者皆が感動しました。



大場 正昭 氏

今回の研修会は10月10日(土)・11日(日)同会場にて開催されます。